

# 令和7年度 第2回愛媛県渋滞対策協議会

## 議事概要

1. 日 時：令和8年2月24日（火）10：30～12：00
2. 場 所：松山河川国道事務所 2F第1・第2会議室（WEB併用）
3. 議 題
  - （1）これまでの経緯
  - （2）主要渋滞箇所の評価
  - （3）松山外環状道路空港線開通に伴う交通状況の変化と対応
  - （4）今年度の通勤時間帯のTDM実施結果
  - （5）今年度の観光期の経路誘導対策結果と次年度の取組み
  - （6）今後の渋滞対策
  - （7）その他
4. 議事要旨
  - 「（2）主要渋滞箇所の評価」において、カフェラミール前交差点の従道路側の低速度要因について、信号現示の配分が関係している可能性があり、交通実態調査の際に併せて確認すると良いとの意見があった。旅行速度が20km/h未満でも、ETC2.0による検証において捌け残りが発生していないと思われる箇所は解除フローに基づき交通実態調査を行い、解除の可否を審議することについて、了承を得た。
  - 「（3）松山外環状道路空港線開通に伴う交通状況の変化と対応」において、東垣生ICまでの開通により北行き交通が飽和している可能性があるため、コンビニ前交差点では北行きの青信号時間を短縮し、その分の青時間を南進右折に振り分けるなど、関係機関と調整しながら試行的に実施することを確認した。
  - 「（4）今年度の通勤時間帯のTDM実施結果」において、TDM施策に参加する社会貢献への意識が高い企業は、自社の取組みに対する影響（効果）を把握したい意向があると考えられるため、実際の効果をフィードバックすることが重要との意見があった。また、TDMの参加者を増やすためには、新規の取組みや実施期間を拡大する等、参加しやすい環境を用意することも必要であるという意見があった。
  - 「（5）今年度の観光期の経路誘導対策結果と次年度の取組み」において、観光客の経路選択に効果的に働いた広報について検証することが必要との意見があった。次年度は、プッシュ広告の認知度や経路選択の決め手になった広報媒体を把握した上で、今年度の取組みを継続することを確認した。
  - 「（7）その他」において、コストコ開業後の長期的な渋滞発生を回避するため、関係機関と渋滞協が連携して対策を講じることを確認した。